

項目番号	17	主管課	図書館
1 評価対象事業			
レファレンスサービスにおけるデータベース強化と推進			
2 該当する教育計画上の基本方針等			
基本方針	4	「学び」を身近に感じ「学び」を実践できる社会の実現に向けて	
方向	3	「学び」が実践できる地域の学習資源の活用	
施策	②	図書館機能の充実	
3 取組事業の概要			
紙・デジタル資料、オンラインデータベースなど多様な情報源を整理し、提供する。提供方法の変更や講習会の実施を通じて、資料の有効活用と市民一人ひとりの「調べる力」の向上を支援する。			
4 具体的な取組（令和4年度）			
判例情報の検索が可能となる体系的な法律データベースを導入する。有料データベース及び国立国会図書館デジタルコレクションの利用に特化した専用端末を設置するとともに、各内容を印刷可能とする環境を整備する。令和3年度に実施したデータリテラシーの講演会のアンケート結果を踏まえながら、講演会やまちなか先生の授業を通じ、上記のデータベースや専用端末等の周知及び利用促進に努める。			
5 年度当初の事業指標等			
データベース利用環境の整備及び講演会の実施			
4月～6月 7月 8月～令和5年1月 2月～3月 ・端末契約 ・要綱改正 ・プリントアウト環境の整備 ・法律データベース利用開始 ・各種 PR ・データベース専用席設置開始 ・講演会準備 ・講演会実施 ・まちなか先生実施 ・利用者へアンケート実施 ・年間まとめ ・アンケート結果の分析等			
6 取組成果（令和4年度）			
(1) 事業決算額・実績値等			
決算見込額	355,940 円 【内訳】専用端末導入費用 65,340 円（令和4年7月以降9か月分）、法律データベース利用料 270,600 円、レファレンスサービス講座・講演会（講師謝金）20,000 円		
実績値等	中央図書館データベース専用席：利用回数 108 回 プリントアウト回数 31 回		
(2) 取組内容			
令和4年7月から中央図書館データベース専用席を設置し、新たに法情報総合データベース「D1-Law」を導入し、データベース及び国立国会図書館デジタルコレクションの閲覧とプリントアウトの提供を開始した。			
データベースや専用端末等の周知及び利用促進の取組として、以下のイベントを開催した。			
・イベント「自由研究応援企画『自分だけの誕生日新聞をつくろう』」対象：小・中学生 参加：60 名			
・まちなか先生「新聞をつかって調べてみよう」実施校：芝久保小学校5年生（約 80 名）、スキップ保谷教室 小学4年生～6年生（4名）			
・講習会「経済情報を見る・調べる～経済情報データベース日経テレコンの使い方～」対象：一般参加：5 名			
・イベント「新聞データベース活用企画『あなたの思い出新聞』」対象：一般 参加：26 名			
・講演会「ネット情報の海に溺れない学び方・学ばせ方」対象：一般 参加：13 名			

7 自己評価

(1) 定量的又は定性的な観点に基づく自己評価

A

A… 計画・目標どおりに達成できた

B… 計画・目標の一部が達成できなかった

C… 達成できず困難な課題がある

(2) 評価理由

データベース専用席を設けることで、以前から要望のあった、国立国会図書館デジタルコレクションのプリントアウトが可能になり、利用者がより充実した調査・研究を行うことができる環境を整備した。

法情報総合データベース「D1-Law」を導入したことで、現行法令だけでなく過去の法令や判例の検索、横断的な検索が可能になり、利用者が専門知識や用語を用いずに必要な情報にアクセスが可能になった。

イベントを通じて、データベースや専用端末等の利用促進を図った。事後に実施したアンケートから、参加者の高い満足度と認知度向上が確認された。

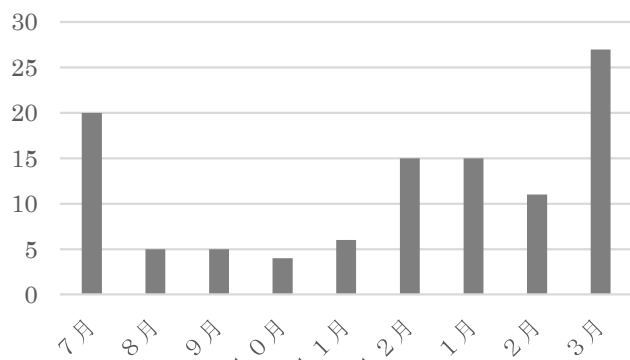
8 今後の課題・改善点

データベースの認知度を向上させるため、引き続きイベントを開催し、データベースのメリットや利用方法の周知に努める。講演会型のイベントについては集客力に課題があるため、開催方法について検討・改善を行う。

今後の西東京市図書館におけるレファレンスサービスの充実については、中央館と地域館の役割や機能の整理を含め、次期図書館計画の中で検討していく。

○参考資料

専用席月別利用回数



データベース専用席



『自分だけの誕生日新聞をつくろう』イベント風景



「まちなか先生」授業風景

